(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2005年6月23日(23.06.2005)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2005/056470 A1

(51) 国際特許分類7:

C01B 13/02

(72) 発明者; および

Tokyo (JP).

Tokyo (JP).

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2004/018319

(22) 国際出願日:

2004年12月8日(08.12.2004)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ: 特願 2003-412661

2003年12月11日(11.12.2003)

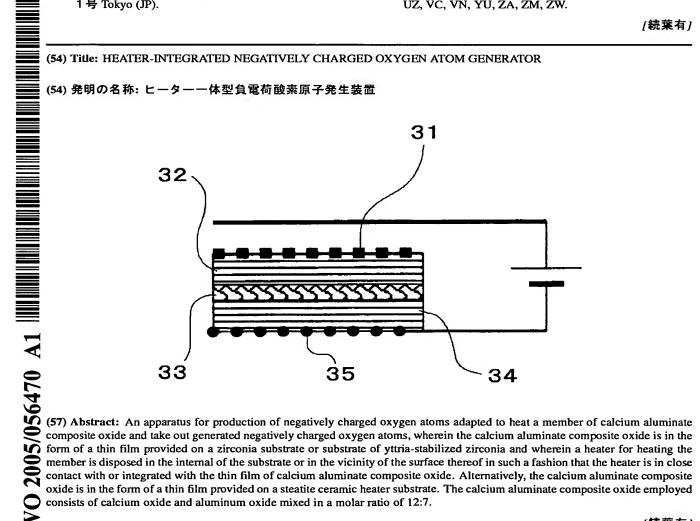
(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株 式会社Oxy Japan (OXY JAPAN COMPANY LIMITED) [JP/JP]; 〒1070052 東京都港区赤坂二丁 目22番21号 Tokyo (JP). 電気化学工業株式会社 (DENKI KAGAKU KOGYO KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒1008455 東京都千代田区有楽町一丁目4番 1号 Tokyo (JP).

- (75) 発明者/出願人(米国についてのみ): 鳥本 善章 (TO-RIMOTO, Yoshifumi) [JP/JP]; 〒1070052 東京都港区赤
- (74) 代理人: 野村 泰久 (NOMURA, Yasuhisa); 〒1020084 東京都千代田区二番町8番地の20 二番町ビル

坂二丁目22番21号 株式会社Oxy Japan内

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が 可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

/続葉有/



consists of calcium oxide and aluminum oxide mixed in a molar ratio of 12:7.



(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

2文字コード及び他の略語については、定期発行される 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類:

一 国際調査報告書

(57) 要約: 本発明の負電荷酸素原子の製造装置は、カルシウムアルミネート複合酸化物からなる部材を加熱し、 負電荷酸素原子を取り出す負電荷酸素原子の製造装置において、上記カルシウムアルミネート複合酸化物はジルコ ニア板又はイットリア安定化ジルコニアからなる基板上に薄膜形成されており、上記部材加熱用ヒーターが上記カ ルシウムアルミネート複合酸化物からなる薄膜に近接して、または一体形成して上記基板内部または表面近傍に形 成される。あるいは、上記カルシウムアルミネート複合酸化物は、ステアタイト製のセラミック・ヒーター基板上 に薄膜形成されている。前記カルシウムアルミネート複合酸化物は酸化カルシウム:酸化アルミニウムのモル比が 12:7である。